

# －第6章 環境保全への理解と取組－

## 第1節 環境教育

### 1 学校教育

#### (1) 概要

高松市教育委員会は、市内の小・中学校において環境教育を推進するため「指導の重点」としてとりあげ、環境教育の指導を行っています。具体的な指導項目については、以下の3点です。

ア 教育活動全体における様々な体験活動を通して、環境や自然に対する豊かな感性を高め、環境について理解を深める。

イ 環境の保全やよりよい環境の創造のために、発達段階や学年に応じて、主体的に行動する実践的な態度や資質、能力を育てる。

ウ 家庭や地域、社会施設、関係機関等との連携を図り、体験的な活動の場への積極的な参加を促す。

#### (2) 子ども環境学習交流会の開催

地域や学校の実態に応じて行われている様々な環境学習について、子どもたちが意見交換をしたり、環境保全にかかわる体験をしたりして、環境に対する意識を一層高め、環境教育の推進を図っています。環境学習交流会では年々、各校の取組発表の内容が充実してきており、環境教育の充実がうかがえます。

平成18年度から、市町合併に伴い学校数が増加したこともあり、高松市立の小・中学校を2班に分けて隔年での参加としました。そして、22年度は、昨年度に参加していない学校を対象に、7月27日（火）、7月29日（木）に南部クリーンセンターで開催しました。2日間で、152人の児童生徒、38人の教員、41人の保護者が参加しました。

#### (3) 小学校社会科副読本の発行

学校教育を通してごみ処理に対する理解と正しい知識を学んでもらうことを目的に、副読本「きれいな高松に・くらしとごみ」を高松市小学校社会科研究会所属の先生方の編集により毎年度発行し、小学校4年生の社会科の補助教材として活用しています。

#### (4) 水源教育の推進

中学生を対象とした「香川用水の水源巡りの旅」を実施し、香川用水および水資源に対する認識を深めています。22年度は、4月から11月にかけて19校（参加生徒数 3,278名）が参加し、池田ダム、香川用水記念公園、東西分水工、早明浦ダムを見学しました。

水源巡りの旅の後、水についてグループ別に調べ、発表会を実施するなど、総合的な学習の時間等を有効に活用し、体験と調べ学習、啓発活動を一体化した環境学習を展開する学校が増えてきています。

#### (5) 各学校における取組

ア 林小学校の取組

林校区は、南にインテリジェントパーク・サンメッセ香川・県立図書館・香川大学工学部などの大きな建物があり、道路もきれいに整備されています。また、北は高速道路・インターチェンジ・バイパスなどがあり、交通量もかなり多いです。便利な土地柄もあり、近年マンションや住宅も増えていきます。

しかし、まだまだ田や畑、川や池も多く、そこに生きる生物に接することもでき、自然のよさを感じることもできます。こうした林の町の特徴を知り、これからも美しい町であってほしいとの願いをもって活動しています。

#### <3年総合学習「大好き林の町」の取組>

4月に、社会科の学習で土地の使われ方を見に行きました。その時、一見きれいに見えた公園や道路も、植え込みの中や遊具の近くにはたくさんのごみがありました。また、草もかなり生えて伸び放題でした。このことから、「自分たちの町を自分たちの力できれいにしたい」という課題をもって、5月にクリーン作戦に出かけました。学校に帰ってからごみの分別をし、気付いたことをまとめたり、新聞に書いて呼びかけたりしました。



クリーン作戦



ごみの分別



新聞づくり

#### <自主的な取組>

3年総合学習「大好き林の町」の取組で高まった意欲は、家族の協力も得ながら、休日の自主的な清掃活動につながっています。

5月29日(土) ごみとり

児童の日記より

ぼくは、おばあちゃんにごみとりをしました。ごみをひろっていたらたばこがありました。ごみが田んぼの中に入っていました。のみさしのジュースもあったのでおどろきました。ぼくは、つぎもいっぱいひろって林の町をきれいにしたいと思っています。ごみをひろったときに、どんどんきれいになりそうだなと思いました。

#### <ごみ0デー活動>

毎月0のつく日に環境委員会が中心となって、ごみ0デーの取組を行っています。この日には、全校生が地域に落ちているごみを拾いながら登校し、体育館前で分別して袋に分けて入れています。たばこの吸い殻や空き缶などが多く、袋もすぐにいっぱいになるので残念ですが、自分たちの力で少しでも林の町をきれいにしようという気持ちとともに、分別への意識も育っています。

この活動は、10年以上も続いていて、林小の自慢でもあります。平成23年度からは、地域の人々へのあいさつ運動も加えた <大好き林デー>として継続しています。

#### <その他の様々な取組>

美化委員会が、毎回各教室から出されるごみの量を量り、ごみの減量や教室でのごみの分別を放送で呼びかけています。

また、環境委員会が、給食時にマイ箸を忘れて「割り箸」を使ったら、捨てずにきれいに洗って集める活動も行っています。この取組みで、大切な資源を少しでも守ることができることをポスターで呼びかけています。



#### イ 高松第一中学校の取組

#### <環境回廊(エコ・リング)>

高松第一中学校は、平成21年度に開校した新しい学校です。22年度には高松第一小学校が開校し、小中一貫教育校としての高松第一学園がスタートしました。

校舎の4階は「環境回廊（エコ・リング）」と呼ばれ、自然エネルギーの循環を体感することができます。まず、屋根の一部は「太陽電池」を設置しています。そこで発電した電気は、校内の照明を点灯する電力の一部として利用されています。また、屋上庭園の風力発電装置も、風が吹いている日は風車の回転で電気をつくることができます。校内で使用する電力は、最初に電気室に引き込まれ、そこからそれぞれの場所に振り分けられています。そのしくみをガラスの壁から見るすることができます。太陽光発電、風力発電による発電量、私たちが学校で使用した電力量は電光掲示板に表示され、エネルギーや環境のことを考えるのに役立っています。



屋根に取り付けられた  
太陽光発電



風力発電



電気室



表示された  
電力量

#### <「グリーン・エコ」コースでの取組>

私たちの学校の高松みらい科（総合的な学習の時間）では、小学6年生と7年生（中学1年生）と一緒に活動をしています。ここではさまざまなコースに分かれて、環境とキャリアをテーマとした活動を行っています。

#### ○校内で涼しい場所を探そう ～気温調べ～

暑くなり始めた6月中旬、校内のさまざまな場所で気温や地面の温度を調べました。

コンクリートのほうが冷たい感じがするので、気温が低いと思っていましたが、芝生の上や植物が生えている所の方が気温や地面の温度が低かったのでびっくりしました。校内で一番温度が高かった所は、マンホールの上で50.5℃。一番温度が低かった所は遊具のある芝生の上で23.2℃でした。



#### ○野菜づくりとエコ（環境）について調べよう

地球温暖化と植物のはたらきの効果を探るために、ベランダ菜園や緑のカーテンについて調べてみました。その結果、植物は気温を下げるのが分かりました。

#### ○野菜づくりをしよう

夏野菜のナス、キュウリ、ミニトマトを育てました。

5月の初めに苗を植え、毎日水やりを行ったり、成長のようすを記録したりしました。6月中旬からナスやキュウリが実りはじめ、6月の終わごろにはミニトマトも収穫できました。

#### <まとめとこれからの課題>

野菜づくりでは、大きくなるように毎日水やりを行い、肥料を与えたり支柱で支えたりしました。植物の生命力を感じることができ、野菜が大きく実った時はとてもうれしく思いました。また、校内の気温や環境について調べることで、地球温暖化の原因は二酸化炭素で



あること、植物は二酸化炭素を減らす光合成というはたらきをしていることや蒸散というはたらきによって気温を下げていることなどを知りました。

植物は僕たちの環境を守り、生活を支えてくれる大切なものであることが分かりました。これからは、野菜や植物を育てる活動だけでなく、屋上庭園を開発するための計画を進め、自然を大切にしたい緑あふれる学校をつくっていききたいです。

## (6) チャレンジ！グリーン活動

香川県教育委員会が実施している「チャレンジ！グリーン活動」に参加し、資源の有効活用等に積極的に取り組む教育活動の推進を通して、よりよい環境づくりや環境の保全に配慮した望ましい行動がとれる児童生徒の育成のために、平成14年度から行われています。

22年度は13校、22の推進グループが参加して、自主的に活動内容を考え、栽培、緑化運動、牛乳パック、プルタブ・アルミ缶の回収活動、地域清掃等の活動に取り組みました。

学校数・グループ数（平成22年度）

学校名	グループ数
栗林小学校	1
木太小学校	1
林小学校	1
下笠居小学校	1
中央小学校	1
木太南小学校	1
古高松南小学校	2
屋島東小学校	1
屋島西小学校	6
木太北部小学校	1
塩江小学校	1
牟礼南小学校	1
国分寺南部小学校	4
13小学校	22

## 2 社会教育

### (1) 高松エコマイスター会議

私たちを取り巻く様々な環境問題を解決していくためには、市と市民・事業者のパートナーシップを築いていくことが不可欠です。

こうしたことから、そのパートナーシップを築いていくための一つ的手段として、平成11年度からの2年間、市民の自発的な環境行動を支援するリーダーとしての役割を担うエコマイスターの養成事業を行いました。

13年4月、この養成講座の修了者が活動の輪を広げるため、自主的に集まり、高松エコマイスター会議を結成しました。

この事業活動の一環として、親子自然体験プログラム「エコマイスター自然学校」を開催しており、市民の自発的な環境行動への支援事業を展開しています。



「干潟で感動体験！エコマイスター自然学校2011」

開催日：平成22年8月8日（日）

開催場所：春日川河口

参加者：親子17組48人

**(2) 子ども農園事業の実施**

子どもたちに、農作業を通じて自然にふれあえる機会を提供し、農作物を育てる喜びと、勤労の尊さを体験させる場として子ども農園事業を実施し、健康で情操豊かな子どもの育成を図っています。

平成22年度 13農園 6,915㎡

こども農園設置一覧表							
校區名	農園設置場所	面積(㎡)	校區名	農園設置場所	面積(㎡)		
1	花園	上福岡町	864	8	円座	円座町	650
2	三溪	三谷町	300	9	東植田	東植田町	415
3	多肥	多肥上町	210	10	東植田	東植田町	326
4	多肥	多肥上町	220	11	植田	西植田町	980
5	川岡	川部町	2,300	12	木太南	木太町	420
6	川岡	川部町		13	大野	香川町大野	230
7	川岡	川部町		計(面積(㎡))		6,915	



子ども農園事業の様子

### (3) 早明浦湖水祭「四国の子ども交歓会」

本市と高知県嶺北地域の子どもたちが、早明浦ダム湖畔などで交流活動を行い、水の大切さや有効利用を学ぶとともに、自然の中で友情を深め、健康で明るい子どもの育成を図っています。

平成22年度

実施日 8月28日および29日の2日間

実施場所 高知県土佐郡土佐町

高松からの参加者 親子23人



早明浦湖水祭「四国の子ども交歓会」の様子

### (4) 市民文化センターの昆虫展示室

市民文化センター内の昆虫展示室（床面積約 170 m<sup>2</sup>）では、県内を中心に世界の有名な昆虫の標本 3,770 個体、約 800 種（128 箱）を集め、「ふるさとの昆虫」、「昆虫の生態と分類」、「昆虫と文化」、「カブトムシの巨大模型」、「昼と夜の樹木に集まる昆虫」の五つのコーナーを設けて展示しています。

子どもたちが、自然に親しみながら昆虫の種類や名前、生態を楽しんで学習できるよう各コーナーごとに環境写真や分布図・解説文を添えたユニークな展示方法をとっています。それは博物館などが専門的な視点で展示しているのと異なり、市民文化センターの昆虫展示室では、昆虫のくらしや生息環境が手に取るように分かるのが特徴です。特に、子どもたちに人気のある昆虫が、より身近に感じられるように、また、図鑑などを使わなくても実物と見比べながら自分で名前が調べられるように工夫し、昆虫に親しんだり、生命の大切さに気づいたり、生き物と環境について興味や関心をもてるよう工夫しています。

特に、環境の変化に伴い絶滅が危惧されている種については、レッドマークを表示するなどの工夫もしています。一方、近年の地球温暖化などによって、分布を広げ県内でもよく見られるようになった昆虫も分かりやすく展示しています。

今はよく見かける普通種の昆虫でも、いつ、いかなる事情で環境が変化して、それに適応できずに激減するかも分かりません。このため、郷土の環境保全と市民意識の高揚にも配慮していきたいと考えています。

平成22年度 入館者数 24,163人



昆虫展示室の様子

## (5) こどもエコクラブ

こどもエコクラブ事業は、環境を大切に思う心を育て、環境に対する人間の責任と役割を理解し、環境保全活動に参加する態度および環境問題解決に役立つ能力が育成されることを目的として、平成7年度から環境省が日本環境協会に委託し、将来を担う子どもたちが主体的に行う環境学習および環境保全に関する活動を支援する事業です。

本市では、クラブの登録受付、キット配布等全国事務局との連絡を行っており、21年度の登録状況は次のとおりです。各々のクラブでは創意工夫ある自主的な活動のほか、全国事務局や市、民間企業の主催による行事に参加しています。

登録クラブ数および会員数

	高松市	香川県	全国
クラブ数	4	11	3,223
会員数	132	774	173,059

(平成23年3月31日現在)

登録状況

クラブ名	会員数	サポーター数
シオン・エコサイエンスクラブ	6	2
高松市立東植田小学校	40	20
さぬきこどもエコクラブ	6	2
弦打っこエコフレンズ	80	4

(平成23年3月31日現在)

## 第2節 環境保全活動

### 1 環境プラザ

高松市環境基本条例および高松市環境基本計画に基づき、環境に関する情報の提供ならびに環境学習および環境負荷を低減させるための体験・実践活動の場として、また、環境の保全および創造について市民の自発的な活動の支援・促進のための施設として、「高松市環境ステーション（仮称）」の整備を検討するため、平成13年7月27日に、学識経験者、事業者、市民団体の代表者等による高松市環境ステーション（仮称）整備検討委員会を設置しました。その後、整備検討委員会で検討を重ね、高松市環

境ステーション（仮称）整備検討結果報告書が14年9月30日に提出されました。

その報告書を受けて、だれもが親しみやすく集まりやすい市の中心部に近く、自転車や公共交通機関の便も比較的良好、旧「高松市リサイクルプラザ（7年6月23日開設／西宝町一丁目13-30）」を整備拡充し、事業の効果的な展開を図ることとなり、名称を「高松市環境プラザ」と変更して、15年10月11日にリニューアルオープンしました。

### (1) 施設の概要

所在地 高松市西宝町一丁目13番30号 TEL 087-861-6660 FAX 087-861-7600

敷地面積 706㎡ 建築面積 320㎡ 延床面積 568㎡

構造 鉄骨軽量気泡コンクリートパネル張 一部2階建

総事業費 1億6,101万1,660円

開館時間 10:00～18:00（土・日は17:00まで）

休館日 月曜日、祝日、年末年始

太陽光発電設備 効率向上追求型 容量10kW

（15年度NEDO太陽光発電新技術等フィールドテスト事業採択）

### (2) 事業内容

事業名	事業内容
出前講座	学校、コミュニティセンター活動、環境関連イベント等への要望に応じて出前教室を開催
環境プラザ教室	小学生から大人の方までが楽しめる環境学習やエコ工作教室を実施
環境学習講座	環境問題全般の基本的知識の習得を目的とした講座を実施
リサイクル教室	事前の申し込みにより、プラザ内での各種リサイクル教室を開催
展示コーナー	地球規模の環境問題からエコロジーな生活の知恵まで学べるパネルを展示 粗大ごみ等の中から使用可能なものを展示
情報コーナー	環境に関する図書・ビデオ・DVDの閲覧・貸出、全国自治体の資料の閲覧、パソコンを使った各種情報の検索など
交流コーナー	環境ボランティア団体の取組および団体の紹介、情報交換交流の場を提供
啓発コーナー	環境に関する各種研修会、環境学習講座、リサイクル工作教室等を実施
不用品交換情報ボード	譲りたい物や欲しい物の情報を登録、提供。情報はボードに掲示、パソコンに登録するほか、「広報たかまつ」、市ホームページでも情報提供
紙すき	事前の申し込みで、紙すきの体験指導。プラザ内での指導のほか、環境関連イベントへの出展（出張指導も可）
石けん作り	廃食油を原料に、石けん作りの体験指導（出張指導も可）

### (3) 年度別利用状況

区分	年度				
	H18	H19	H20	H21	H22
来館者数(人)	4,275	4,052	4,053	4,767	4,230
1日当たり来館者数(人)	14	14	14	16	14
図書・ビデオ貸出利用件数(件)	54	22	7	1	2
不用品交換登録件数(件)	1,015	1,038	1,055	1,008	806
出前講座件数	77	63	59	50	52
出前講座人数	2,983	2,802	2,677	2,114	2,074





環境プラザで学習している様子

#### (4) 今後の環境プラザの在り方

環境プラザは、前述のとおり、旧「高松市リサイクルプラザ」を整備拡充し、環境学習の拠点施設として、各種の環境学習事業を展開してきましたが、平成22年8月1日の事業仕分けにおいて、ランニングコストに対して来館者数が少ない等の理由から、廃止の結果判定となりました。

このことから、23年度末に「公の施設」としての環境プラザは廃止することとし、今後の施設の在り方については、「環境プラザ運営協議会」や庁内関係課職員で構成される「環境プラザ庁内在り方検討会」等、各方面での議論を重ね、意見調整を行いながら、よりよい在り方を取りまとめることとしました。

## 2 環境リーダー養成講座

深刻化する地球温暖化や環境保全について、地域住民の理解を深め、問題意識が高まるよう様々な環境情報の提供を行うとともに、学校教育や生涯学習の現場に積極的に関わりを持って、地域での自発的な環境行動を支援するための「環境リーダー」を養成するために、施設見学等を含む講座を開講し、一定数以上の研修を受講された方に修了証を交付しました。

### (1) 受講対象者

高松市内に在住または通勤、通学している方

### (2) 講座内容

- ア 環境リーダーの役割
- イ 問題解決系研修
- ウ チームワーク系研修
- エ エコ工作
- オ 施設見学 等

### (3) 募集人員

30名程度

### (4) その他

平成22年度の環境リーダー養成講座は、「高松市協働企画提案事業」として、特定非営利活動法人に委託して実施しました。



環境リーダー養成講座の様子

### 3 南部クリーンセンター「エコホテル」利用者数(見学コースまたは学習室の利用者数)

南部クリーンセンターの管理棟には、環境問題について学習できる「エコホテル」があります。一階には紙すきや工作等を実際に体験できる「学習室」、二階にはパネルや映像を通して広く環境問題を学習できる展示ギャラリーや見学者説明室があり、見たり、聞いたり、また、体験を通して、楽しみながら学習できる施設です。また、見学コースは、職員の説明を受けながら、ごみ処理施設、廃棄物再生利用施設などを見学し、実際のごみ処理方法の実情を知ってもらいます。

また、平成22年度も、海外からの視察見学がありました。(ベトナム高校生訪日団26人)

(単位：人)

施設 \ 年度	H17	H18	H19	H20	H21	H22
エコホテル	3,669	3,133	2,518	3,230	3,646	3,209



見学説明



親子工作会



紙すき

## 4 衛生組合

### (1) 目的・組織

地域住民によって自主的に組織されている衛生組合は、地域社会を住みよい快適な環境とするため、生活環境の改善および環境美化運動の推進、環境および公衆衛生思想の普及向上等に関する自主的実践活動を行っています。衛生組合の組織は、単位組合が地区ごとに地区衛生組合協議会を結成し、これら地区衛生組合協議会が連合して、高松市衛生組合連合会を結成しています。

加入世帯 → 単位衛生組合 → 地区衛生組合協議会 → 高松市衛生組合連合会  
 117,522世帯 → 2,633組合 → 46地区 (平成23年4月1日現在)

### (2) 活動状況

各地区衛生組合協議会等が中心となり、地区内の道路等の空き缶など散乱ごみの清掃を実施するクリーン高松推進事業への助成のほか、次のような活動を行っています。

- ア 環境美化運動の推進
- イ クリーン高松推進事業の推進
- ウ ごみ減量運動等の推進
- エ ごみの正しい出し方の普及推進
- オ 環境衛生知識の向上等

### (3) 助成措置

(平成22年度実績)

区 分	金 額 (円)
衛生組合連合会運営補助金	2,963,275
清掃事業等に対する傷害保険料	1,083,230
その他	1,653,100
合 計	5,699,605

## 5 その他の活動

### (1) 石けん使用推進

消費者団体の協力を得て、「暮らしをみなおす市民のつどい」等の啓発行事や廃食油収集事業において、石けんの適正使用についての啓発を行うなど、環境保全に対する市民の理解と協力が得られるよう努めました。

### (2) 廃食油収集事業

水質汚染の防止を図るため、家庭用廃食油の収集を高松市消費者団体連絡協議会および19地区コミ

ユニティ協議会に委託し、廃食油を持参した方に洗たく用石けんを提供するとともに、適正使用の啓発に努めました。

収集場所 環境プラザ，市内22箇所のコミュニティセンター

収集日 環境プラザ…毎月10日（10日が土・日・月曜日および祝日のときは前後の平日に変更）  
各コミュニティセンター … 各地区の指定する日（年3～4回）

収集時間 環境プラザ…午前10時～正午

各コミュニティセンター … 各地区の指定する時間

廃食油収集事業により収集された廃食油は、主に精製されて豚や鶏などの飼料として再利用され、食肉や卵などの畜産物を生産する上で重要なリサイクル資源となっています。そのほかインクや塗料、洗剤などの工業用原料や、燃料としてもリサイクルされています。

年度	H18	H19	H20	H21	H22
収集量 (ℓ)	6,606	6,228	5,328	6,701	6,406

### (3) グリーンコンシューマー活動

「環境にやさしい買い物推進協議会（グリーンコンシューマーかがわ）」に設立時から参加し、買い物袋持参運動や環境に配慮した商品選択の推進などの啓発キャンペーンに参加しました。

### (4) 使用済みわりばし回収

NPOグリーンコンシューマー高松の事業に協力し、平成20年4月より使用済みわりばし回収BOXを高松市環境プラザに常設しています。NPOグリーンコンシューマー高松では、環境プラザ以外にも、地域の祭りや各団体のイベント、コミュニティセンター等でも使用済みわりばし回収BOXを設置し、地域住民によるわりばし回収を行い、廃棄物の抑制、資源循環型社会の推進に努めています。

回収状況(環境プラザ)

年度	H20	H21	H22
回収量 (kg)	1,474	1,924	1,915